

12月	モニターレポート	担当出張所	高槻出張所
担当区間	摂津市高槻市境界～檜尾川合流点(右岸20.8～28.2km)		
モニター実施日時	令和2年12月13日(日) 14時～15時30分		
天候	曇り		

(見出し)

年末の休日、コロナ禍での河川敷公園の利用状況を中心にモニターしました。

新型コロナウイルス感染者が増大し第3波を迎え、大阪府では独自基準から緊急事態(レッドステージ)であることが宣言され、感染拡大防止のために府民に対し12月3日～15日まで不要不急の外出を自粛する等の要請が出されました。

コロナに始まりコロナに終わる今年の年末、私自身も外出自粛と思いましたが河川敷各施設の利用状況はどうなっているのか興味がわき起こり出かけることにしました。

まずは三島江地区の状況から、どんよりと曇った天気そして感染拡大防止の要請下で人が少ないだろうと思っていましたが予想に反し、休日ということもあってか人出が多く野球場では試合が行われていました。

特に家族連れの出掛けなど微笑ましいひとコマを見ることができました。



サッカーグラウンドでもゼッケンをつけて練習に専念する人達がありました。



近くでは寒い中でもテントを設営し余暇を楽しむ人達もいました。



一方で高規格堤防の工事も進んでいました。（休日のため作業は行われていませんでした）



河川敷の木々の伐木工事も行われており、現場には休日で人影もなく伐採した材木が積まれていました。



灌漑用水の導水施設水路ではカモの群れを見ることができました。



高水敷道路にナンバーのない不審車両が止められていましたが、ゴルフ場関係の車両とわかり安心しました。（帰りに通った時には車両は既に移動してありませんでした）



マスクをしながらの親子連れのランニングやサイクリングをする人とも出会いました。



次に上流の大塚地区に移動して同じように施設の利用状況を調べてみました。

テニスコートでは熱心にプレーをする人達がありました。



ここでも家族連れの姿が多く見受けられました。



家族での散歩や友達同士のグループも見受けられ多くの人達が訪れていました。



幼い兄弟がしゃぼん玉遊びを楽しんでいました。



私の予想に反し多くの人出を見て外出自粛であっても、こういう時こそ普段のコロナ禍の緊張を緩和するためにも私達には淀川河川敷のような広くて寛げる場所が必要なのではないかと強く感じました。

来年には新型コロナウイルス感染症が収束に向かうようお願いいたします。

（意見・感想・処置等）

12月のレポートありがとうございます。

曇りの日の空は、太陽が出ていないせいか、一段と冬の寒さを感じます。そんな中、野球やサッカーを熱心にプレーしている姿を見ると、寒さがふきとび元気が出てきそうです。

新型コロナウイルスの感染拡大により、再び不要不急の外出自粛要請が出されましたが、河川敷では普段通りの活気があふれていて少し安心しました。

密を避けながら、河川敷を活用して、心も体もリフレッシュしていただきたいものです。

このレポートにあがっている三島江地区の緩傾斜堤防工事の写真は、段差のあった所に土を盛り、重機で平らに均した状態です。殺風景な感じの法面だけに、約700mの範囲に設置されたハローキティの単管バリケードが目に入ってきます。可愛さと面白さがミックスされて、SNSに載りそうですね。散歩やサイクリングのちょっとした楽しみになるのではないのでしょうか。

次の伐木工事の写真ですが、近年、樹木等が著しく繁茂しており、その結果、樹木群は河川内の流水阻害を引き起こし、洪水時に水位上昇の恐れがあります。また樹木群が生長することで見通しが悪くなり、不法投棄等を助長することにも繋がります。こういった問題を解消すべく、伐木工事を実施しています。伐採された木が重機の半分くらいの高さまで積み上げられているのを目にすると、広範囲にわたって群生していたことがよくわかります。伐採した木は1m程度に小切りにして無償配布することがあり、無償配布の際は、淀川河川事務所のHPに詳細を掲載しますので、完工予定の令和3年3月以降にHPをチェックしてみてください。

それでは、来年のレポートも宜しくお願いします。